

## 第19回 今度は愛妻家(2010)

### <あらすじ>

自堕落な生活を送るカメラマンの俊介（豊川悦司）は、妻のさくら（薬師丸ひろ子）に愛想を尽かされて、一人旅立たれてしまう。うるさい妻がいなくなって清々すると思ったのもつかの間、いないならいないで人生から何かは抜け落ちたかの様な喪失感に悶々とする日々。新人モデルの蘭子（水川あさみ）の誘惑にも心が動かず、蘭子はいつの間にかアシスタントの誠（濱田岳）と懇ろな仲に。腑抜けの様な生活を送る俊介の前に、ひょっこりと帰ってきたさくらが、離婚する前に写真を撮って欲しいと頼むのだが・・・

### <スタッフ>

監督：行定勲

- ・GO（2001年10月20日公開、監督）
- ・世界の中心で、愛をさけぶ（2004年5月8日公開、監督・脚本）
- ・北の零年（2005年1月15日公開、監督）
- ・春の雪（2005年10月29日公開、監督）
- ・クローズド・ノート（2007年9月29日公開、監督・脚本）
- ・パレード（2010年2月20日公開、監督・脚本）
- ・つやのよる ある愛に関わった、女たちの物語（2013年1月26日公開、監督）
- ・円卓 こっこ、ひと夏のイマジン（2014年6月21日公開、監督）
- ・真夜中の五分前（2014年12月27日公開、監督）
- ・ピンクとグレー（2016年1月9日公開、監督）
- ・ナラタージュ（2017年10月7日公開、監督）
- ・リバーズ・エッジ（2018年2月16日公開、監督）

### <キャスト>

豊川悦司：北見俊介

- ・3-4X10月（1990年） - 沖縄連合組長 役
- ・12人の優しい日本人（1991年） - 陪審員11号 役
- ・きらきらひかる（1992年） - 岸田睦月 役
- ・NIGHT HEAD（1994年） - 霧原直人 役
- ・Love Letter（1995年） - 秋葉茂 役
- ・北の零年（2005年） - アシリカ（会津藩士・高津政之） 役
- ・レイクサイド マーダーケース（2005年） - 津久見勝 役
- ・椿三十郎（2007年） - 室戸半兵衛 役
- ・接吻（2008年） - 坂口秋生 役
- ・20世紀少年 シリーズ
- ・3月のライオン（2017年） - 幸田柁近 役
- ・ラプラスの魔女（2018年） - 甘粕才生 役
- ・のみとり侍（2018年5月18日公開予定、東宝） - 清兵衛 役
- ・パンク侍、斬られて候（2018年6月30日公開予定）

薬師丸ひろ子：北見さくら

- ・野性の証明（1978年10月7日公開、日本ヘラルド映画、東映） - 長井頼子 役
- ・戦国自衛隊（1979年12月15日公開、東宝、※1シーンの出演） - 子供のような武士 役、<角川映画>

- ・翔んだカップル (1980年7月26日公開、東宝) - 主演・山葉圭 役
- ・セーラー服と機関銃 (1981年12月19日公開、東映) - 主演・星泉 役
- ・探偵物語 (1983年、東映) - 主演・新井直美 役
- ・里見八犬伝 (1983年12月10日公開、東映) - 主演・静姫 役、<角川映画>
- ・メイン・テーマ (1984年7月14日公開、東映) - 主演・小笠原しづき 役
- ・Wの悲劇 (1984年12月15日公開、東映) - 主演・三田静香 役
- ・きらきらひかる (1992年10月24日公開、日本ヘラルド映画) - 主演・岸田笑子 役
- ・レイクサイド マーダーケース (2005年1月22日公開、東宝) - 並木美菜子 役
- ・ALWAYS 三丁目の夕日 シリーズ (2005年11月-2012年1月、東宝) - 鈴木トモエ 役
- ・あおげば尊し (2006年1月21日公開) - 峰岸麻理 役
- ・バブルへGO!! タイムマシンはドラム式 (2007年2月10日公開、東宝) - 田中真理子 役
- ・ハナミズキ (2010年8月21日公開、東宝) - 平沢良子 役
- ・コーヒーが冷めないうちに (2018年9月21日公開、東宝) - 高竹佳代 役

水川あさみ：吉沢蘭子

- ・GO (2001年、東映) - チマチョゴリの少女 役
- ・69 sixty nine (2004年、東映) - 長山ミエ 役
- ・同じ月を見ている (2005年、東映)
- ・のだめカンタービレ最終楽章 前編/後編 (2009年・2010年、東宝) - 三木清良 役
- ・後妻業の女 (2016年8月27日) - 三好繭美 役

濱田岳：古田誠

- ・宇宙兄弟 (2012年5月5日、東宝) - 古谷やすし 役
- ・少年H (2013年8月10日、東宝) - 看板屋の男 役
- ・永遠の0 (2013年12月21日、東宝) - 井崎源次郎 役
- ・杉原千畝 スギハラチウネ (2015年12月5日、東宝) - 大迫辰雄 役
- ・ヒメアノ〜ル (2016年5月28日、日活) - 岡田進 役

鴻上尚史率いる劇団サードステージ (第三舞台) が、中谷まゆみ原作の「ビューティフル・サンデー」「ペーパー・マリッジ」に続く第3弾として02年に上演した同名舞台を、行定勲監督が映画化。プータロー同然の生活をおくる元売れっ子カメラマンと、大の健康マニアで献身的に夫を支える妻の日常を描く。

井上の映画主題歌は「赤い目のクラウン」。劇中では「夢の中へ」も口ずさまれている。行定監督は、デビュー40周年を迎えた井上書き下ろした楽曲について、「僕はこの映画をだれもが共感し、楽しめる大人の映画にしたいと思っていた。その最後を締めくくるのは陽水さんの声以外は思いつかず、切望して書いていただけることになった。できあがってきた曲は僕の想像をはるかに超えてせつなく、心に刺さる歌だった」とコメントを寄せた。

悲しみのラストはあとにして  
想い出の最後は雪にして  
愛は果てしなく深く限りもなく  
夜の静けさに壊れそう  
赤い目のクラウン

あざやかな記憶を夢に見て  
ほほえみを最後の謎にして  
夢はさりげなくいつも終わりもなく  
夜を一筋に沈みそう  
涙目のクラウン

赤い目のクラウン

さみしさを合図に会いに来て  
おやすみのライトを消しに来て  
夜はいつになく空に飾りもなく  
遠く密やかに忘れそう  
眠い目のクラウン

涙目のクラウン  
赤い目のクラウン